



呉竹祭

開催レポート

呉竹会員が入学時に支払った呉竹会費は、学校の発展に寄与する様々な目的で使われ、呉竹会員に還元されています。呉竹会主催イベントの呉竹祭もその1つです。

今年で8回目となる呉竹祭が平成30年10月14日(日)に行われました。今年度は天候の悪化が心配されましたが、終日崩れることなく過ごしやすい気候の中、20クラスによるクラスイベントが行われ、総勢で約230名以上の方が来場されました。

開閉会式には呉竹会の

福島会長、山岸副会長もお見えになり、また閉会式では呉竹会が選ぶ『呉竹会長賞』の表彰が行われました。今回の『呉竹会長賞』受賞イベントは特に接客の姿勢などが評価され、II部鍼灸科3年生の『焼肉キングダム』が受賞しました。



II部鍼灸科3年生

例年大好評の『チャリティーあん摩マッサージ指圧』には69名、埼玉県鍼灸師会協力の『はりきゅう無料体験』では169名の皆様にお立ち寄り頂きました。ご協力頂いた埼玉県鍼灸師会の先生方、誠にありがとうございました。



チャリティーあましの様子



無料はりきゅう体験の様子



白衣コンテスト優勝クラス

もあって、大変に盛り上がりしました。白衣コンテスト優勝クラスは鍼灸マッサージ科1部2年2組でした。

呉竹祭の締めを飾る『白衣コンテスト』では、今年も多くのクラスが流行りのものから本格的なダンスまで工夫を凝らしパフォーマンスを行い、また総合司会を務めてくれた柔整科1部3年1組の頑張り

次年度の呉竹祭も10月に開催予定です。卒業生の皆さま、またそのご家族やお知り合いなども、ぜひ大宮まで遊びに来て下さい。

呉竹祭取材班レポート

取材班 I柔2-1、I柔3-2

クリニック健康教室

7階基礎医学実習室では呉竹メディカルクリニックスタッフによる健康教室が行われていた。今回は腰痛に関する「今日から出来る簡単体操」の指導をしており、11:00からの講演では幅広い年齢層の来場者が来ていた。毎年開催しているブースだが、スタッフは今回は天候の関係もあり例年より少ない

印象だと感じているようだった。

クリニックスタッフの優しい声かけの様子や、シンプルな動きにも効果があること、座ってやる運動でも全身運動になるといった豆知識、正しいスクワットのレクチャーなど、聞いていて「なるほど」と思うことを話していて、興味をそそるように講演を進めているのだと感じた。



健康教室の様子

取材班が選ぶイチオシイベント!

I部柔道整復科3年2組 『ハッシュドポテトと一口ピザ』

ハッシュドポテトと餃子の皮で作った一口サイズのピザを販売するイベント。ポテトにかけるパウダーの種類が沢山ある。ピザはオリジナルとのこと。

室内で出来るイベントながら、工夫して凝った料理を提供していた。入っているお客さんも子供から大人まで大人気で、みんな楽しそうだった。

2019年度定期総会・同窓会のご案内

呉竹医療専門学校呉竹会の第7回定期総会及び同窓会を、右記の日程で開催します。

呉竹会の卒業生も8期目をむかえる中、全ての会員が垣根無く一堂に会すことの出来る貴重な機会です。会員同

士の交流の場としてこの機会をご利用ください。

参加希望の方は別途お送り致しますご案内、または本校ホームページより申込み方法をご確認ください。



【開催日】

2019年6月30日(日)

【呉竹会定期総会】

開始:午後3時30分(受付:午後3時~)

会場:呉竹医療専門学校

【同窓会】

開始:午後5時00分(受付:午後4時30分~)

会場:レストランSQUARE

大宮駅西口から徒歩約10分
埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-333-13
OLSビル1F

会費:3,000円

現役学生の活躍

鍼灸科Ⅱ部3年 神田彩子さん

柔道整復科5期生で鍼灸科Ⅱ部3年に在学中(2019年1月現在)の神田彩子さんが、埼玉県山岳連盟からの派遣要請を受けて福井県で開催された、第73回国民体育大会にトレーナーとして帯同いたしました。

以下、神田彩子さんのレポートです。

『福井しあわせ元気国体2018』報告

今回私は、10月5日から7日に福井県池田町で行われる競技『山岳(スポーツクライミング)』に埼玉県チームのトレーナーとして帯同しました。

埼玉県からは、成年男子ボルダリング・成年男子リード・成年女子ボルダリング・成年女子リード・少年男子ボルダリング・少年男子リードの6種目、3チーム(6人)が出場しました。結果、チームは天皇杯準優勝・皇后杯12位(成年男子ボルダリング優勝・成年男子リード優勝・成年女子リード第7位・少年男子ボルダリング第2位・少年男子第5位)と大健闘でした。

私は、競技後のケアやスケジュール管理等を担当いたしました。海外から帰国した選手の時差調整が必要でしたが、大きな怪我を抱える選手はいなく、ほぼベストな状態で

本大会に臨むことができました。

今後は柔道整復師として、そして今年度の鍼灸国家試験合格をめざし、アスリートの外傷の応急処置から試合前後のコンディショニングコントロール等、資格を生かした経験を積んでいきたいと思います。国体という大きな舞台で選手のサポートをするというとても貴重な経験は、多くの方のお力添えで実現しました。

ありがとうございました。



トレーナーとしてのお仕事



競技の様子



服部陽吾氏

本科2期生の服部陽吾氏は、さいたま市に9院、久喜市に1院、介護施設としてデイサービス等を経営するはっとり鍼灸接骨院グループ(母体は株式会社アール)の役員であり、出身校である埼玉栄中学校および山梨学院大学の柔道部の専属トレーナーとして多忙な日々を送っている。

今回は、はっとりグループの中でも特に外傷患者が多く来ると評判の西大宮

院に陽吾氏を訪ねた。

スポーツの名門校、埼玉栄中学、高校が院から徒歩5分のところにあり、部活で怪我をした生徒がそのまま来院するので、スポーツ外傷、障害がとても多く、年間で100件を超える骨折や脱臼等の外傷患者が来るそうである。

またその他、陸上、バスケットボール、アメリカンフットボール、相撲などの部活は、スタッフが直接大会に出向きサポートをしているそうである。

ただ来院患者を待っているだけでなく、外に出て自らの活動を通して新規患者の開拓をおこなうアグレッシブな経営手法を体現している。

そんな陽吾氏は、今年の春から母校山梨学院大学の近くに開院する準備に入っている。全日本学生柔道大会5連覇中の柔道部員のサポートをしつつ、地域の人たちに信頼される鍼灸接骨院を目指して頑張っていきたいと目を輝かせながら語ってくれた。

実は奥様は東京校の柔整科のOG、

卒業後はとりに就職しその後ゴールインしたそうです。2歳になるお子さんと、この春にもう一人ご出産の予定で新たな地での活躍を祈念いたします。

なお、本校OB・OGも多く在職しており当日は残念ながら取材はできなかったがここに名前をあげておく。

[宮藤真紀さん(II柔2期)、前沢日菜子さん(本4期)、橋本あかりさん(1専5期)、清水健矢さん(II専6期)、宮沢水晶さん(本7期)、宇津木翔太さん(1柔7期)]等で、この他学校に通いながら技術を学べる学生社員の制度も設けているとのこと。

最後に氏より後輩にメッセージを頂き

ました。

私は柔道に携わる仕事をしたかったので、柔道整復師、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の資格を取得しました。専門学校に通いながらトレーナー活動の勉強し、選手からの信頼を得る為、頼ってもらえる存在になる為にも、現場で経験を積みながら学びました。

今では2つの学校からトレーナーを依頼されるようになり、とても仕事のやりがいを感じています。

やりたい事を実現する為、良い学校生活が送れるようにする為、みなさんも一度しかない人生をチャレンジしてほしいと思います。



西大宮院の前で家族と一緒に



平成30年度全国中学校大会で優勝した埼玉栄中学の柔道部と陽吾氏



全日本学生柔道大会5連覇中の山梨学院柔道部女子部員と共に

OB・OGの皆様へ

毎年10月に開催される呉竹祭にぜひお越しください。そして近況報告や住所の変更等があればお知らせください。呉竹会では鍼灸科は畠山、柔整科は本多、事務は柳田が担当として皆様のお越しをお待ちいたしております。



卒業生の来校風景:本科2期生



卒業生の来校風景:柔整科4期生

平成30年度公開講座開催 **報告**

【平成30年度開催内容】

第1回 平成30年9月23日(日)
『野球現場で活動するために必要なことーキャリアデザインの観点から』
講師：NPO法人野球共育塾理事長 能勢康史 先生
野球共育塾の理事長を務め、数々のスポーツ選手に指導実績がある能勢先生を講師としてお招きした。
スポーツ現場で仕事をする際に重要な自ら行動するというトレーナーの姿勢・心構え



について、また野球を中心としたスポーツの技術・知識について、多くの選手に関わってきた自らの経験を元にお話を伺った。

第2回 平成30年10月21日(日)
『スポーツ選手の難治性鼠径部痛に対する治療戦略』
講師：JIN整形外科スポーツクリニック リハビリテーション科 二瓶伊浩 先生
二瓶先生はAT、CSCSなど多数の資格を持ち、本講座では前年度にもご講演頂いている。
2回目となる今回の講座では、前年度に続いて難治性鼠径部痛に関して、実技を交えて講演頂いた。治療院の経験を元に、機能評価の方法などについての新しい知識を学ばせていただいた。

第3回 平成30年11月23日(金・祝)
『M-Testによるスポーツ選手の身体評価とケア』

呉竹会では、会員及び地域の先生方の生涯学習に資するため「公開講座」を開催しています。
平成30年度公開講座は9月から1月まで計4回開催され、総勢219名の方に参加いただきました。

平成31年度公開講座の詳しい日程は、決定次第HPにて公開いたします。卒業生の皆様はぜひ奮ってご参加下さい。

講師：筑波技術大学保健科学部附属 東西医学統合医療センター准教授 櫻庭陽 先生
筑波技術大学で准教授を務める櫻庭先生には、鍼灸師や柔整師が簡単にできるケア方法について講演頂いた。
スポーツ鍼灸の現状や外国のスポーツ鍼灸の事情を始めとし、M-Test（全身をMotion（動き）で診る）の紹介とその実践方法や有効性について指導頂いた。

れている川岸先生にお話し頂いた。
トレーナーとして何が出来るのか・何を感じたのかなど貴重な経験を参加者に伝えて頂き、またストレッチの効果的な方法や肩甲骨を剥がし可動域を増やす方法、火を使用せずに扱うことが出来る吸い玉カップの紹介、選手に対する技術的なマッサージ指導なども行われた。



第4回 平成31年1月27日(日)
『オリンピック金メダリストをサポートして想う事』
講師：からだ元気治療院 川岸直生 先生
公開講座最終日となる第4回では、本校1期生卒業生であり、オリンピック金メダリスト金藤理絵選手のトレーナーなどを経験さ

医学会 **報告**

平成30年度医学会報告

【特別講演】

がんの基礎知識
～がん予防、早期発見の必要性～
静岡県立大学食品栄養環境科学研究所 特任教授 若林 敬二 先生



【実技セッション】

新しいスポーツマッサージ ファンクショナルスポーツマッサージ
～マッサージで動きを良くする～
国立大学法人筑波技術大学 非常勤講師 広橋 憲子 先生



関節運動学的アプローチ
株式会社トータルライフケア 代表取締役 西海 奉成 先生

筋膜性疼痛症候群とトリガーポイント鍼療法
もりた鍼灸院 院長 森田 義之 先生

筋膜療法を取り入れた美容鍼 ～運動鍼による歪み治療～
コウ鍼灸治療院 院長 堀口 三恵子 先生

刺さない鍼（接触鍼法）によるがん患者への治療
東方堂鍼灸院 小野 博子 先生

【その他の発表】

教員・卒業生・在校生による一般口演 …13題
研修生による症例報告会…4題
分科会…22題



平成30年10月19日(金)、今年で30回目を迎える呉竹医学会学術大会が横浜校で開催されました。大宮校呉竹会からは、呉竹会会長の福島先生が開会式に出席しました。大宮校の在校生も7組が分科会で発表を行い、普段の研究の成果を披露しました。
平成31年度の呉竹医学会は大宮校で開催します。卒業生の皆様もぜひご参加下さい。



ツボの力(POWER)でGOALを得～る(Yell)! 活動 **報告**

【アルディーイベント1回目】

平成30年5月19日(土) 大宮アルディーのNACK 5スタジアム内で、鍼灸認知度普及ボランティア活動を行いました。『ツボの力(POWER)でGOALを得～る(Yell)!』

大宮vs岐阜の試合を応援に訪れた観客約370名の方に学生17名、教職員6名で手のツボ(合谷)にツボシール(PYONEX ZERO)を貼りました。

昨年企画した為、リピーターもいました。「またツボシール受けに来たよ!」という嬉しい声も。鍼灸に親しみを持ってもらい、地域市民から頼られる医療の一翼を担えるように、これからも頑張りたいと思います。



【アルディーイベント2回目】

8月26日(日)大宮アルディーのNACK 5スタジアム内で、鍼灸認知度普及ボランティア活動を実施しました。

さいたま市の最高気温38.2℃。体も溶けるような暑さの中、19時キックオフまでの屋下がり、額に汗して参加してくれた学生15名、教職員7名の協力者に感謝です。ありがとうございました。大宮アルディーvsレノファ山口の観戦者310名のサポーターにツボシールを体験頂く事ができました。本校の活動を通じて、アルディーの選手を応援するサポーターの背中も心のツボも押せたのではないのでしょうか。

対戦相手のレノファ山口には、本校鍼灸マッサージ科第1期卒業生の義村秀一くんがチームトレーナーとして活躍しています。義村くんが仕事の合間を見つけて陣中見舞いに来てくれました。

在校生の協力と卒業生の応援に見守られて、この活動を無事に成し遂げられる事ができたと思います。



鍼灸科教員 西岡岳之





大宮校正面玄関にて写真撮影

上海中医薬大学 短期留学生 受け入れ



記念プレート

上海中医薬大学との交流が30周年目を迎える2018年夏、中国から短期留学生がやってきた。

当学園では長い間中国研修でお世話になっていたが、上海中医薬大学の生徒が呉竹学園に短期留学するのは初めてのことである。8月20日(月)～8月31日(金)までの11日間のスケジュールのうち、大宮校では最初の2日間で行うこととなった。

8月20日、張碧英先生と引率教員と

学生11名が無事に到着した。

初日は開講式を行い、オリエンテーションの後、授業が始まった。

鍼灸科では坂本収司先生による「日本における鍼灸の現状と呉竹学園」という講義や、深山先生による「鍔鍼作り」を、柔整科では荷田先生による「包帯実技」を行った。また附設クリニックの見学を行い、クリニック村瀬副院長による授業も行われた。

2日目は初日に続き「鍔鍼作り」から

スタート、和気あいあいと喜んで授業を受けていた。

5階道場では赤岡先生による「柔道」の授業が行われた。協力学生がそれぞれに柔道着の着方を教えてくれて、横について受け身を行い、希望者には型(投げの型:浮き落とし)を体験してもらった。全員で集合写真を撮り、協力学生と楽しんでた。

昼食の時間には大宮校在校生と翻訳アプリや筆談でコミュニケーションを

図り、それぞれ楽し気に話をしている様子が見られた。

午後にはクリニック村瀬副院長による「整形外科 画像診断」の講義が行われ、留学生からはMRIに対して疑問があり質問を活発にしていた。

川畑先生の「指圧実技」ではお互いにゆっくりと施術を行っていた。指圧実習のためゆったりとした空気の中、大宮校での研修を修了した。

留学生は挨拶や片付けなどにとっても気を遣っていることが感じられた。



鍔鍼作りの様子



指圧実技の様子

総括

留学生は授業が始まるとしっかり受講していたが、ハードスケジュールのため疲れが溜まっているようだった。それぞれの講義を一生懸命受講していて好感が持てた。学生たちの満足度は良好で、大宮校として参加してくれた事務・教員・学生の諸氏は十分にホスピタリティを発揮して「おもてなし」をしてくれていた。

今回の留学を踏まえ、国際交流に必要な技術・知識を高めていく必要を感じた。(鍼灸科教員 坂本収司)

同好会の活動

超音波研究会

呉竹会の事業の一つに同好会活動の援助がある。活動費として、年間3万円を上限に必要額を支出している。

昨年創立した「超音波研究会」をレポートした。

会の顧問はほねつぎ施術所所長で日本超音波軟組織学会会員の中山先生、前職はGEにてMRI、CT等のメンテナンスをしていたエンジニアで東京理科大卒のバリバリの理系の方。

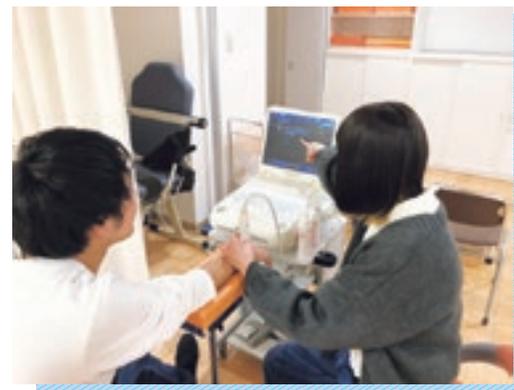
また、川口柔道整復科科長も超音波軟組織学会会員で、診療放射線技師の資格も併せ持ち、しばしば画像診断についての的確にアドバイスをを行っている。

活動内容は主に操作性のスキルアップを目標としている。毎週月・火・木曜日の午前と午後2時間ほど座学及び機器の取扱い法、画像診断法などについて実際に自分たちで超音波観察装置を使用して臨床にでたときに自分自身で操作ができるように練習をしている。

同好会は、呉竹会のメンバーである現役学生なら随時入会が可能である。興味ある方は顧問の中山先生まで連絡ください。



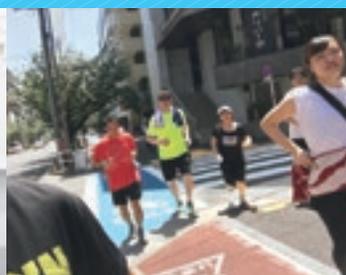
指導をする川口柔整科科長



機器の取扱い

平成30年度同好会一覧

- 超音波研究会
- フットサル同好会
- 天晴れの会
- JMC研灸部
- 柔道同好会
- 古典同好会
- ランニング同好会 KART
- 全7同好会が活動中です



平成30年度 決算報告(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

費目	予算	決算	増減(予算-決算)	備考
1. 前期繰越金額	26,098,270	26,202,260	-103,990	
2. 会費	4,890,000	4,890,000	0	H30新入会163名
3. 預金利息	1,000	260	740	2月分未定
	0	0	0	
収入合計	30,989,270	31,092,520	-103,250	

支出の部

費目	予算	決算	増減(予算-決算)	備考
1. 運営費	1,000,000	734,352	265,648	
(1) 消耗品費	50,000	4,320	45,680	会報誌取材時土産代
(2) 通信費	200,000	134,292	65,708	会報誌送料(2回)
(3) 印刷費	600,000	536,760	63,240	会報誌印刷費(2回)
(4) 交通費	80,000	58,980	21,020	会議時交通費
(5) 会議費	50,000	0	50,000	
(6) 雑費	20,000	0	20,000	
2. 活動費	4,440,000	2,865,294	1,574,706	
(1) 総会費	900,000	613,800	286,200	同窓会費用(90名)
(2) 呉竹祭費	1,200,000	1,036,647	163,353	
(3) 学校行事協賛金	600,000	278,222	321,778	柔道大会・公開講座
(4) 表彰費	150,000	97,200	52,800	呉竹会賞記念品5名、会員証500部
(5) 慶弔費	100,000	10,000	90,000	お祝金
(6) 学術研究費	350,000	289,425	60,575	呉竹医学会抄録・分科会経費
(7) 同好会補助費	140,000	140,000	0	7同好会(新規・復帰加入)
(8) 図書等寄贈費	1,000,000	400,000	600,000	金額概算
次期繰越金	25,549,270	27,492,874	-1,943,604	
支出合計	30,989,270	31,092,520	-103,250	

財産目録 (平成31年1月29日現在)

項目	残高	項目	残高
普通預金	31,662,874	前受金(139名会費)	4,170,000
現金	0	次期繰越金	27,492,874
合計	31,662,874	合計	31,662,874

平成30年度 事業報告(案)

月日	摘要	内容
平成30年4月1日(日)	入学式出席(有楽町朝日ホール) 会員名簿作成	福島会長 新規会員170名 総会員数1,540名
4月17日(火)		監事監査(瀬川監事)
4月29日(日)	理事会 定期総会の開催	役員・担当理事の決定 平成29年度事業報告・会計報告 平成30年度事業計画・予算 卒業生22名、教職員25名参加
	第6回同窓会の開催	パレスホテル大宮 参加者89名 卒業生62名、教職員27名参加
8月22日(水)	全国柔道整復学校協会柔道大会	大会用柔道着寄贈、壮行会の開催
9月23日(日)	公開講座の開催(1回目)	「野球現場で活動するために必要なことーキャリアデザインの観点から」 講師:能勢康史先生 参加者91名
10月1日(月)	会報「くれたけ6号」発送	
10月14日(日)	呉竹祭の開催	会長、副会長出席 来場者数239名 クラスイベント20クラス チャリティー募金33,903円 鍼灸体験(埼鍼会協賛)
	理事会の開催	在校生理事、卒業生施設利用、褒賞について 呉竹会報について
10月19日(金)	呉竹医学会協賛(横浜校開催)	会長出席、抄録の印刷
10月21日(日)	公開講座の開催(2回目)	「スポーツ選手の難治性鼠径部痛に対する治療戦略」 講師:二瓶伊浩先生 参加者74名
11月23日(金)	公開講座の開催(3回目)	「M-Testによるスポーツ選手の身体評価とケア」 講師:櫻庭陽先生 参加者33名
12月16日(日)	理事会の開催	在校生理事、卒業生施設利用、褒賞について 呉竹会報について
平成31年1月27日(日)	公開講座の開催(4回目)	「オリンピックメダリストをサポートして想う事」 講師:川岸直生先生 参加者21名
3月14日(木)	卒業式出席	会長、副会長
3月16日(土)	理事会	平成30年度 事業報告案・決算案 平成31年度 事業計画案・予算案
3月下旬	会報「くれたけ7号」発送	

就職支援について

本校では在校生の就職を支援するため就職相談会などを開催しており、外部企業や卒業生とも接する機会が豊富です。そうした交流から就職先を決める生徒も多く、就職セミナーや就職相談会ではより多くの企業と面談するように勧めています。また、在校生・卒業生専用の「呉竹学園求人システム」を設けており、登録頂いた企業からの求人を、呉竹会員が簡単に閲覧することが出来るようになっております。

呉竹学園求人検索システムについて

呉竹会員のための「呉竹学園求人検索システム」は、学校ホームページからアクセス出来る「呉竹求人検索システム」で閲覧出来ます。マイページの登録方法が分からない、パスワードを忘れてしまった方などは、学校事務局にご相談ください。ご相談は電話でも受け付けています。

2019年度Kuretake塾卒後臨床セミナー

Kuretake塾では卒後の臨床における「安全・安心な刺鍼技術」の確認をする目的で、卒後臨床セミナーの受講生を募集します。

対象者

- ・鍼灸免許取得後、刺鍼深度、刺鍼方向に不安がある者
- ・講座は実技を中心に行うため講師等の指示を遵守することができる者

参加条件

- ・鍼灸賠償責任保険に加入していること。
- ・刺鍼を受け入れられる者。原則2人1組で参加すること。1人で参加する場合は、他の1人で参加する者同士が1組になることを了解している者。

実施時期

2019年5月～2020年1月(全5回)

申込期間

2019年4月中旬～ ※受講希望者が定員に達した時点で申込終了

受講費用(全5回分)

呉竹学園の卒業生: 15,000円
その他の卒業生: 25,000円

講座の詳細は4月初旬よりKuretake塾ホームページで公開。

https://www.kuretake.ac.jp/kuretake_juku.html

お問い合わせ先

東京医療専門学校・Kuretake塾卒後臨床セミナー係
担当: 田辺
メールアドレス: sotsugo-kuretakejuku@kuretake.ac.jp

キッズ柔道クラブ会員募集

柔道は礼に始まり礼に終わるスポーツです。新しいお友達と柔道に励み、礼儀を学び、みんなで楽しい時間を過ごしませんか。呉竹道場キッズ柔道クラブでは会員を募集しています。

お子様、お知り合いで見学・体験入部(無料)を希望される方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください(電話048-658-0001)。当日の柔道着は当会で用意します。

【場所】 呉竹医療専門学校5階柔道場:

さいたま市大宮区桜木町1-185-1

【曜日】 火・金曜日

(ただし、祝日および休校日はお休みです)

【時間】 午後5時30分から7時30分まで

【対象者】 小学校2～6年生

【費用】 ●月毎の会費 3,000円

入会時に係る費用

●入会金 2,000円

●日本柔道連盟登録料 1,300円

その他費用が発生するもの

・柔道衣 5,225円、ゼッケン代 1,575円

(ご自身で購入される場合は不要です)

●スポーツ安全保険料:

【A1】800円、【AW】1,450円(任意保険)



編集後記

光陰矢の如しといいますが、特に社会に出てからの月日の流れは速く、友人と会う機会も意識して設けなければ中々得難いものです。先古の友人が結婚式を挙げました。気づけば10年ぶりになる再開でしたが、見た目こそ年相応になったものの、話をすれば昔と何も変わらず、気心の知れた相手との懐かしい時間を過ごしました。呉竹会の同窓会で皆様が会う様子を見ていても、同じ体験をした仲間というのは、それだけで打ち解けるのに時間のいらぬものだと思えます。呉竹会の活動も、皆様再び交流するのきっかけの一つとなるよう取り組んでおりますので、今後とも本紙共々ご愛顧頂けましたら幸いです。

事務局 柳田 明彦

卒業生記事募集のお知らせ

呉竹会会報誌では、次回会報紙に掲載する卒業生の方からの記事を募集しております。ご自身の開業や就職に関するご報告、在校生や卒業生に伝えたいこと、その他最近あった内容など、何でも結構です。記事の提供や、取材のご希望などございましたら、呉竹会事務局までご連絡ください。

【ご連絡先】

呉竹会事務局 担当 柳田 明彦 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL 048-658-0001 FAX 048-658-0005 E-mail yanagida@kuretake.ac.jp

ご連絡の際はご自身の氏名・卒業学科・連絡先を明記の上、「呉竹会会報」に関する内容であることが分かるようお送りください。

